



## RTU ライセンスの設定

- 機能情報の確認 (1 ページ)
- RTU ライセンスの設定に関する制約事項 (1 ページ)
- RTU ライセンスの設定に関する情報 (2 ページ)
- RTU ライセンスの設定方法 (4 ページ)
- RTU ライセンスのモニタリングおよびメンテナンス (7 ページ)
- RTU ライセンスの設定例 (8 ページ)

### 機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、使用するプラットフォームおよびソフトウェアリリースの **Bug Search Tool** およびリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、**Cisco Feature Navigator** を使用します。**Cisco Feature Navigator** にアクセスするには、<https://cfng.cisco.com/>に進みます。**Cisco.com** のアカウントは必要ありません。

### RTU ライセンスの設定に関する制約事項

次に、RTU ライセンスの設定および使用に関する制約事項を示します。

- AP-Count ライセンスは注文が可能で、スイッチ上で事前にアクティブ化できます。
- イメージベースのライセンスは、アップグレードできます。AP-Count ライセンスは非アクティブ化したり、スイッチとコントローラとの間で移動したりできます。
- ライセンスをアクティブ化するには、新しいライセンス レベルを設定した後にスイッチを再起動する必要があります。AP-Count ライセンスをアクティブ化するために再起動する必要はありません。

- 再起動後に、期限が切れた評価ライセンスを再びアクティブ化することはできません。
- スイッチ スタックのスタック メンバは同一のライセンス レベルを実行する必要があります。ライセンス レベルが異なる場合、レベルを変更してスタックのアクティブなスイッチから再起動するまでは、スイッチはスタックに参加しません。
- 追加 AP-Count ライセンスは、工場出荷時にインストールされます。

## RTU ライセンスの設定に関する情報

### Right-To-Use ライセンス

Right-To-Use (RTU) ライセンスでは、特定のライセンス タイプおよびレベルを注文してアクティブ化し、ライセンスの使用状況をスイッチで管理することができます。注文できる期間別のライセンスのタイプは次のとおりです。

- 永久ライセンス：特定の機能を備え、有効期限のないライセンスを購入できます。
- 評価ライセンス：スイッチに事前にインストールされています。使用有効期間は 90 日です。

永久ライセンスまたは評価ライセンスをアクティブ化するには、エンドユーザライセンス契約 (EULA) を承認する必要があります。

永久ライセンスは1つのデバイスから別のデバイスに移動できます。ライセンスをアクティブ化するには、スイッチを再起動する必要があります。

評価ライセンスは、アクティブ化してから 90 日後に有効期限が切れます。評価ライセンスはスイッチのマニファクチャリングイメージであり、別のスイッチに移動できません。このタイプのライセンスは、いったんアクティブ化すると、有効期限が切れるまで非アクティブ化できません。評価期間が満了すると、次のリロード時にスイッチのイメージのライセンスはデフォルトに戻るため、ネットワーク運用に影響はありません。

### Right-To-Use イメージベースのライセンス

Right-To-Use イメージライセンスは、特定のイメージベースのライセンスに基づき、次の一連の機能をサポートします。

- LAN Base：レイヤ 2 の機能。
- IP Base：レイヤ 2 およびレイヤ 3 の機能。
- IP Services：レイヤ 2、レイヤ 3、IPv6 の機能（スイッチにのみ適用され、コントローラには適用されません）。

スイッチのデフォルトのイメージライセンスは次のとおりです。

- Catalyst 2960-CX スイッチ : LAN Base
- Catalyst 3560-CX スイッチ : IP Base

## Right-To-Use ライセンスの状態

特定のライセンスタイプとレベルを設定した後は、ライセンスの状態をモニタすることでライセンスを管理できます。

表 1: RTU ライセンスの状態

License State	説明
Active, In Use	EULA が承認され、デバイス再起動後にライセンスが使用されています。
Active, Not In Use	EULA が承認され、ライセンスが有効になった時点で、スイッチを使用する準備が整っています。
非アクティブ化	EULA が承認されませんでした。

イメージベースのライセンスの状態をモニタする場合のガイドラインは次のとおりです。

- 購入した永久ライセンスは、スイッチの再起動後のみに *Active, In Use* 状態に設定されません。
- 複数のライセンスを購入した場合は、再起動すると最も高い機能セットのライセンスがアクティブ化されます。たとえば、IP Services ライセンスがアクティブ化され、LAN Base ライセンスはアクティブ化されません。
- スイッチの再起動後も、購入済みの残りのライセンスは **Active, Not In Use** 状態のままです。



(注) AP-Count ライセンスの場合に状態を「Active, In Use」に変更するには、まず、評価 AP-Count ライセンスが非アクティブ化されているようにする必要があります。

## モビリティ コントローラ モード

AP-Count ライセンスは、スイッチがモビリティ コントローラ モードになっている場合にのみ使用します。MC は、AP-Count AP-Count ライセンスをトラッキングするゲートキーパであり、アクセス ポイント参加を許可または拒否できます。

AP-Count ライセンスはを、CLI で設定可能なモビリティ コントローラ モードで実行して管理します。

## Right-To-Use Adder AP-Count 再ホスト ライセンス

あるデバイスのライセンスを無効にして、別のデバイスにインストールする操作を再ホストと呼びます。デバイスの目的を変更するために、ライセンスのリホストが必要になる場合があります。

ライセンスを再ホストするには、あるデバイスの Adder AP-Count ライセンスを非アクティブ化し、別のデバイスで同じライセンスをアクティブ化します。

評価ライセンスを再ホストすることはできません。

## RTU ライセンスの設定方法

### イメージベース ライセンスのアクティブ化

イメージベースのライセンスをアクティブ化するには、次のタスクを実行します。

#### 手順の概要

1. `license right-to-use activate { ipbase | ipservices | lanbase } [ all | evaluation | slotslot-number ] [ acceptEULA ]`
2. `reload [ LINE | at | cancel | in | slot stack-member-number | standby-cpu ]`
3. `show license right-to-use usage [ slot slot-number ]`

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<p><code>license right-to-use activate { ipbase   ipservices   lanbase } [ all   evaluation   slotslot-number ] [ acceptEULA ]</code></p> <p>例 :</p> <pre>スイッチ# license right-to-use activate ipservices all acceptEULA</pre>	<p>ライセンスレベルをアクティブにします。すべてのスイッチ上でアクティブ化され、EULA への同意が含まれることもあります。</p> <p>(注) EULA に同意しない場合は、変更した設定はリロード後に反映されません。デフォルトのライセンス (または非アクティブ化されたライセンス) がリロード後にアクティブになります。</p>
ステップ 2	<p><code>reload [ LINE   at   cancel   in   slot stack-member-number   standby-cpu ]</code></p> <p>例 :</p> <pre>スイッチ# reload slot 1 Proceed with reload? [confirm] y</pre>	<p>特定のスタックメンバをリロードし、RTU 追加 AP-Count ライセンスのアクティブ化プロセスを完了します。</p> <p>(注) これまでに同意していなかった場合は、リロード後に同意を促すメッセージが表示されます。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
		ライセンスレベルを変更する場合は、設定を保存する必要はありません。ただし、リロードする前にすべての設定が適切に保存されていることを確認することをお勧めします。再起動時に高いライセンスレベルから低いライセンスレベルに変更すると、適用できないCLIは削除されます。アクティブに使用される低いライセンスレベルの機能はすべて削除されないようにしてください。
ステップ 3	<b>show license right-to-use usage [ slot slot-number ]</b> 例 : スイッチ# <b>show license right-to-use usage</b> <pre> Slot#          License Name          Type usage-duration(y:m:d)  In-Use    EULA ----- 1              ipservices            Permanent 0 :10:27      yes          yes 1              ipservices            Evaluation 0 :0 :0       no           no 1              ipbase                Permanent 0 :0 :9       no           yes 1              ipbase                Evaluation 0 :0 :0       no           no 1              lanbase                Permanent 0 :11:12      no           yes           </pre> Switch#	詳細な使用状況に関する情報を表示します。

## ap-count ライセンスのアクティブ化

### 手順の概要

1. **license right-to-use activate {apcount ap-number slot slot-num} | evaluation} [ acceptEULA]**
2. **show license right-to-use usage [ slot slot-number ]**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>license right-to-use activate {apcount ap-number slot slot-num}   evaluation} [ acceptEULA]</b> 例 : スイッチ# <b>license right to use activate apcount 5 slot 1 acceptEULA</b>	1つ以上の追加 AP-Count ライセンスをアクティブ化し、ただちに EULA に同意します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	<b>show license right-to-use usage [ slot slot-number ]</b> 例 : スイッチ# <b>show license right-to-use usage</b> <pre> Slot#  License Name      Type usage-duration(y:m:d)  In-Use  EULA ----- 1      ipservices         permanent  0 :3 :29       yes      yes 1      ipservices         evaluation 0 :0 :0       no      no 1      ipbase            permanent  0 :0 :0       no      no 1      ipbase            evaluation 0 :0 :0       no      no 1      lanbase            permanent  0 :0 :0       no      no 1      apcount           evaluation 0 :3 :11       no      no 1      apcount           base       0 :0 :0       no      yes 1      apcount           adder     0 :0 :17       yes     yes           </pre> Switch#	詳細な使用状況に関する情報を表示します。

## アップグレードライセンスまたはキャパシティ Adder ライセンスの取得

キャパシティ Adder ライセンスを使用すれば、deviceがサポートするアクセスポイントの数が増やせます。

### 手順の概要

1. **license right-to-use {activate | deactivate} apcount {ap-number | evaluation} slot slot-num [ acceptEULA]**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>license right-to-use {activate   deactivate} apcount {ap-number   evaluation} slot slot-num [ acceptEULA]</b> 例 : スイッチ# <b>license right to use activate apcount 5 slot 2 acceptEULA</b>	1つ以上の追加 AP-Count ライセンスをアクティブ化し、ただちに EULA に同意します。

## ライセンスの再ホスト

ライセンスを再ホストするには、1つのdeviceのライセンスを非アクティブ化し、別のdeviceで同じライセンスをアクティブ化します。

### 手順の概要

1. `license right-to-use deactivate [license-level] apcount ap-number slot slot-num`
2. `license right-to-use activate [license-level] slot slot-num [ acceptEULA]`

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>license right-to-use deactivate [license-level] apcount ap-number slot slot-num</b> 例： スイッチ# <code>license right-to-use deactivate apcount 1 slot 1</code>	1つのdeviceのライセンスを非アクティブ化します。この例では、IP Base ライセンスレベルがスロット 1 から非アクティブ化されています。
ステップ 2	<b>license right-to-use activate [license-level] slot slot-num [ acceptEULA]</b> 例： スイッチ# <code>license right to use activate ipbase slot 2 acceptEULA</code>	別のdeviceをアクティブ化します。この例では、IP Base ライセンスレベルがスロット 2 に再ホストされています。

## RTU ライセンスのモニタリングおよびメンテナンス

コマンド	目的
<code>show license right-to-use default</code>	デフォルトのライセンス情報を表示します。
<code>show license right-to-use detail</code>	スイッチ スタック内のすべてのライセンスの詳細情報を表示します。
<code>show license right-to-use eula {evaluation   permanent}</code>	エンドユーザ ライセンス契約を表示します。
<code>show license right-to-use mismatch</code>	一致しないライセンス情報を表示します。
<code>show license right-to-use slot slot-number</code>	スイッチ スタック内の特定のスロットのライセンス情報を表示します。
<code>show license right-to-use summary</code>	スイッチ スタック全体のライセンス情報の要約を表示します。

コマンド	目的
<code>show license right-to-use usage [ slot slot-number ]</code>	スイッチ スタック内のすべてのライセンスの使用状況に関する詳細情報を表示します。
<code>show switch</code>	ライセンスのステータスを含むスイッチスタック内のすべてのメンバの詳細情報を表示します。

## RTU ライセンスの設定例

### 例：RTU イメージベースのライセンスのアクティブ化

次に、IP Services イメージライセンスをアクティブ化し、特定のスロットの EULA を受け入れる例を示します。

```
Switch# license right-to-use activate ipservices slot 1 acceptEULA
% switch-1:stack-mgr:Reboot the switch to invoke the highest activated License level
```

次に、評価用ライセンスをアクティブ化する例を示します。

```
Switch# license right-to-use activate ipservices evaluation acceptEULA
% switch-1:stack-mgr:Reboot the switch to invoke the highest activated License level
```

### 例：RTU ライセンス情報の表示

### 例：RTU ライセンスの詳細の表示

次に、スロット 1 の RTU ライセンスのすべての詳細情報の例を示します。

### 例：RTU ライセンスの不一致の表示

この例では、スタック内のスイッチのライセンス情報と、メンバスイッチの不一致ステータスを示します。メンバスイッチがアクティブ スイッチと一致している必要があります。

```
Switch# show switch

Switch/Stack Mac Address : 1c1d.8625.7700 - Local Mac Address
                                     H/W   Current
Switch#   Role      Mac Address      Priority Version  State
-----
*1        Active    1c1d.8625.7700   15      V02      Ready
```



2	Standby	bc16.f55c.ab80	7	V04	Ready
3	Member	580a.2095.da00	1	V03	Lic-Mismatch



(注) ライセンスの不一致を解決するには、まず、RTU ライセンスのサマリーを確認します。

```
Switch# show license right-to-use
```

次に、アクティブ スイッチと同じライセンス レベルとなるように、一致していないスイッチのライセンス レベルを変更します。この例では、アクティブ スイッチと一致するように IP Base ライセンスをメンバスイッチに対してアクティブ化したことを示します。

```
Switch# license right-to-use activate ipbase slot 3 acceptEULA
```

## 例：RTU ライセンス使用状況の表示

例：RTU ライセンス使用状況の表示

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。